

# 大会式次第

## オープニング

開会の言葉・・・熊本県第二宗務所所長 吉田憲隆  
 献花

## 第一部 法要

### ◆記念法要

奉詠 「三宝御和讃」

導師入堂・・・曹洞宗九州管区長 池田大智

拈香法語

普同三拝

読経 「摩訶般若波羅蜜多心経」

奉詠 「大聖釈迦牟尼如来讃仰御詠歌」(高嶺)

回向

普同三拝

導師退堂

奉詠 「正法御和讃」

お誓い・・・梅花流九州師範会副会長 松樹英子

10:10

10:00

敬虔に明るく

### 三宝御和讃

拍速五〇位

(一) (調) 一 ころのやみを  
(二) (調) う きよのなみを  
(三) (調) き とりのきしに  
(調) わのりこえて  
(調) たたるべき

いともとうとき  
 みよきめぐみに  
 ちをつたえし  
 もゆるものり  
 の

ちかいをねーごう  
 ものはみな  
 の

ふねにさおさす  
 ものはみな  
 ひじりにたーよる  
 ものはみな

なむきえぶつととなえよや  
 なむきえほつととなえよや  
 なむきえそつととなえよや

# お誓い

私達は梅花流詠讃歌を通して、

正しい信仰に生きます。

私達は梅花流詠讃歌を通して、

仲良い生活をいたします。

私達は梅花流詠讃歌を通して、

明るい世の中をつくりまします。

## ◆梅花講員物故者、

### 東日本大震災被災物故者追悼法要

山鹿灯籠踊り

導師入堂・・・熊本県潮音寺住職 木村照嗣

拈香法語

奉 詠 「追善供養御和讃」

回 向

導師退堂

大会会長挨拶・・・曹洞宗九州管区長 池田大智

散 堂

10:30

大聖釈迦牟尼如来讃仰御詠歌（高嶺）  
おわします想いで  
拍連四二位

|    |   |   |    |
|----|---|---|----|
| の  | む | た | い  |
| ●△ | △ | ○ | ○  |
| や  | ひ | か | ま  |
| ●△ | ○ | ね | も  |
| ま  | と | に | な  |
| ●△ | △ | ○ | ○  |
| と  | は | つ | わ  |
| ●△ | △ | き | し  |
| お  | い | そ | の  |
| ●△ | ○ | す | ○  |
| も  | る |   | ●△ |
| ●△ | さ |   |    |
| え  |   |   |    |
| ○  |   |   |    |
| と  |   |   |    |
| ●△ |   |   |    |



岩手県 瑞雲寺 「追善供養御和讃」 【ライブ中継】

11:00

長崎県 A 「彼岸御和讃」

熊本県第一・第二 「修証義御詠歌」 (伝心)

宮城県 青龍寺 「御授戒御和讃」 【ライブ中継】

佐賀県 A 「観世音菩薩御和讃」

福岡県 A 「正行御和讃」

〔休憩〕・・・昼食

12:00

活動報告 シャンティ国際ボランティア会 (SVA)

活動紹介 ピースジャム

演奏 フォークデュオ ワルツ

福島県 福源寺 「正行御和讃」 【ライブ中継】

13:20

佐賀県 B 「高祖承陽大師道元禅師修行御和讃」 (菩提)

長崎県 B 「四摂法御和讃」

正法御和讃

敬虔に

拍速五〇位

は <sup>(調)</sup> なのあしたに <sup>(樂)</sup> かたほえみ

ゆきのゆうへに ひじをたち

よよにつとうる みちはしも

よそにたぐいは <sup>(調)</sup> あらいその

なみもえよせぬ たかいわに

かきもつくべきのりならばこそ

宮崎県 「太祖常濟大師瑩山禪師影向御和讃」

「太祖常濟大師瑩山禪師影向御詠歌」(伝光)

佐賀県C 「まごころに生きる」

大分県、鹿児島県 「地蔵菩薩御和讃」

福岡県B 「誓願御和讃」

熊本県第二 「同行御和讃」

第三部 講演

講師 及川秀子氏

テーマ 東日本大震災を乗り越えて

「三つの命を大切に」

第四部 閉会式

新曲奉詠 「道心利行御和讃」

山鹿灯籠踊り

静座《独詠》 「坐禅御詠歌」(浄心)

閉会の言葉・・・梅花流九州師範会会長 甲斐之彦

ファイナーレ 「しあわせ運べるように」合唱

終了

15:30

15:10

14:30

追善供養御和讃

歌かに

拍速四二位

たまとむすびてはちすばに  
きのありしはきよきはゆめ

おきたるつゆのひとし  
うつつにみゆるみすがたは

ながきはひとのねがいに  
こころのなかのかけにして

みじかきものはいのちなり  
あわせるてこそまことなる





## 及川 秀子氏

(有)オイカワデニム 代表取締役社長  
内閣府中央防災会議防災対策検討会議WG委員

宮城県生まれ。会社創立から 30 余年、夫の他界、バブルの崩壊、そして東日本大震災による津波被害という 3 度の試練を迎える。

当初は有名ブランドの OEM 生産が中心だったが、近年、これまで培った技術をもとに自社ブランドを立ち上げる。日本の職人技術を結集して作り上げた商品が海外で話題となり、スポーツ選手をはじめ愛用者は多い。津波被害により、自宅や事務所、工場などほとんどが流されてしまった中、高台に残った新工場を避難所として提供する一方、早期の操業再開、地元の若者の雇用など、復興のため積極的な取り組みを行っている。

「宮城県気仙沼にオイカワデニムはひとつの裁縫工場として誕生しました。創業から代々受け継がれてきた、こだわりの造形を追及する精神で、数多くの製品を世の中に贈り続けています。あるとき、世界初の技術の開発に成功。それは、綿に麻糸を乗せた特殊技術により製造する、世界中でこのオイカワデニムしか造ることが出来ないジーンズです。

オイカワデニムは 1981 年に設立されて以来ずっと稼働していますが、2 度の経営危機を迎えています。1 度目は秀子さんのご主人が他界された時、2 度目はバブル崩壊。これらの苦難を乗り越え、2006 年に自社ブランドで商標登録、特許も取得した「スタジオ ZERO」を立ち上げました。

東日本大震災では高台の上の工場が被災を免れたため、被災者 150 人の受け入れをして工場と一緒に生活しました。そんな中でもいち早く工場を再開してデニムを作り続け、「被災に負けなかったジーンズ」「復興のデニム」として、地域の方々を勇気づけています。



## 特定非営利活動法人 ピースジャム



東日本大震災で立ち上がった、赤ちゃんとお母さんを救済する団体・ピースジャムは、「とにかく赤ちゃんのおなかを減らさないこと」をモットーに、主に宮城県気仙沼市や南三陸町、岩手県陸前高田市を中心に活動してきました。震災直後の緊急フェーズには、自らの足で一軒一軒きめ細やかなニーズ調査を行い、要支援赤ちゃんとお母さんにおむつやミルクなどのベビー用品を直接手渡してきました。この活動は、理事長である佐藤がたった一人で始めた活動でしたが、現在は、現地・遠隔合わせて約10名のスタッフで運営されています。

中長期的復興を見据えた2011年11月からは、被災した母親が就業と育児を両立させながら地域のママ・ネットワークを形成できるように、ジャム作り事業と縫製事業、子育てサロン事業を展開しています。気仙沼市そして三陸沿岸地域の暮らしの復興と再生を図るモデルを創出することで、「平和（ピース）を共有（ジャムセッション）する」という支え合いと助け合いの理念を被災地から全国へ発信していきます！



<http://peace-jam.jimdo.com/>

特定非営利活動法人 ピースジャム  
〒988-0053  
宮城県気仙沼市田中前 2-3-21-202  
TEL/FAX 0226-29-6583

浜のミサンガ



## 仕事がある。笑顔になれる。

「浜のミサンガ環（たまき）」は、三陸の浜の300人近い女性たちが漁網と麻紐を使って作ったミサンガです。

まだまだ仕事の確保が難しく特に浜の女性たちには仕事がありません。雇用を生み、お金を還流させ、浜の皆さんに仕事をしていただくことで地域に元気を生み出すプロジェクト。

「復旧」すら進まない浜でも、仮設住宅で、仲間と語り合いながら精一杯の笑顔で手仕事を続ける女性たちが、力強く、できることをコツコツと着実に進めています。

浜の女性たちからの贈り物を、1本いかがでしょうか!?

### 浜のミサンガ「環」とは

震災後、浜の男性たちには、漁業施設の復旧、瓦礫撤去や工事の手伝いなどの仕事が少しずつ生まれてきましたが、水揚げの手伝い、カキやホタテの殻剥きなど、浜の仕事を元気よく手伝ってきた女性たちの仕事は未だ生まれず、途方にくれているのが現実です。そんな中、生来の働き者でもある浜の女性たちが、浜の漁具を使った手仕事を始めました。浜のミサンガ「環（たまき）」づくりです。「環」とは、日本古来のブレスレットの呼称。一つひとつ漁網で編んだオリジナルのミサンガは、明日の活力（仕事）として、被災者の女性たちが中心となって作り始めています。ミサンガの販売代金1,100円(1セット・税込)のうち、材料費や販売経費、諸経費を除いた、1セットあたり約500円以上（現状の試算です）が彼女たちの賃金になります。また、制作する女性たちに材料を届けたり、製作の指導をする、地元の方々にも、1セット当たり95円以上が支払われます。ミサンガのモチーフとなる漁網（ぎよもう）も三陸で調達します。地元の方々にも少しでも多くの、手仕事での収入を届けることができれば、との思いで始まった取り組みです。



最初にこの漁網を見つけたのは三陸町・越喜来の漁網工場でした。倉庫にあった未使用の漁網をご提供いただき、ミサンガデザイナーやプロジェクトチーム、そして地元のお母さんたちと試行錯誤の上、ようやく生まれました。手先が器用な方は、網のミサンガを。まだ初心者だから入門編でいい、という恥ずかしがりの女性は、細いミサンガを。という風に避難所でワイワイ楽しくはじまりました。漁網自体は切加工が難しいため、網に馴れた地元の若い漁師の仲間たちが漁網を一括で仕入れ、切加工をした上で生産者チームに「材料」として供給しています。漁網は、「いわし漁」など比較的小型の魚の漁に使われる網。もちろん、未使用品を使っています。

### ミサンガの販売について

ミサンガの販売代金のうち、諸経費を引いた金額が、彼女たちの賃金になります。

※ 浜のミサンガ「環」には、シリアルナンバーの入った品質保証シートがついています。





Waltz

ワルツ  
**Waltz**  
サチコ & テツ



清興紹介

2006年9月、フォークデュオ、WALTZ（ワルツ）サチコ&テツを結成。やさしい人柄がにじみ出るそのステージは、静かな人気となっている。

60年代～70年代の懐かしのフォーク、ポップス、スタンダード、スクリーン・ミュージックから最新のアニメソングまで、子どもから大人までの幅広いジャンルを中心に、県内外でプロ演奏活動中。

病院や施設でのボランティアコンサートも行っている。



**サチコ**

熊本市出身

ヴォーカル、ギター、  
作詞、作曲

艶のある、のびやかで透き通る歌声は、聴く人の心を魅了する。

『千の風になって』は、すでに9年前から、熊本で歌い続けている。



**テツ**

菊池市出身

ピアノ、シンセサイザー、  
ギター、ベース、ドラムス、  
パーカッション、  
作曲、編曲

シンセサイザーを駆使したサウンドと、その演奏テクニックでワルツサウンドをクリエート。

学生時代よりコーラス部にて活躍。

アルトからソプラノまでカバーする幅広い声域と艶のある伸びやかな表現力、豊かな声量そして何より暖かなその歌唱は、癒しの泉。

長年勤めた保育士をやめ、2001年よりプロ歌手としてスタート。

ソロによるギター弾き語り、県内外で幅広くコンサートを続ける。

2006年、テツと出会い意気投合。フォークデュオ『ワルツ』を結成。現在に至る。

中学、高校とロックバンドで活躍。

大学時代ヤマハポップコン、第9回全国大会に九州代表で、フォークバンド『七福神』のメンバーとして出場。つま恋本選会でグランプリ。同期に、中島みゆき、八神純子、松崎しげる、岩崎宏美、渡辺真知子、因幡晃、庄野真代 等がいる。バンド解散後、スタジオミュージシャンとして活躍。

父の死去を機に、郷里熊本へ帰省。音楽教室にて生徒多数指導中。

『WALTZ 音楽工房』

熊本県菊池市下河原4594-3

TEL・FAX 0968-24-3840

E-mail [littlewing-ty@grace.ocn.ne.jp](mailto:littlewing-ty@grace.ocn.ne.jp)

HP <http://waltzduo.web.fc2.com>

## 山鹿灯籠踊り保存会



山鹿灯籠踊り保存会

昭和32年発足。現在、踊り手30名、地方15名で構成されており、山鹿市の伝統芸能である灯籠踊りの保存・継承に努めております。

灯籠まつりをはじめ、国内外のまつりやイベントに参加し、年間約230回の出演をしています。

※ 当日の熊本の寺族・梅花講員・檀信徒の皆さんが60名参加。

### 市外出演

- 平成9年 大手メーカーTV コマーシャル
- 10年 オーストラリア「祭りフェスタ・イン・シドニー」
- 11年 ニュースステーション灯籠まつり生中継 中国上海公演
- 12年 ベルギー「EU ジャパンフェスト」 NHK ハイビジョン灯籠まつり生中継
- 14年 東京 NHK ホール「地域伝統芸能まつり」
- 15年 台湾「ランタンフェスティバル」
- 17年 香港「キャセイパシフィック・インターナショナル・ニューイヤーパレード」
- 18年 札幌商工会議所創立100周年記念日本のまつ

#### 〈市内出演〉

- ・ 温泉祭
- ・ 灯籠まつり
- ・ 風情物語
- ・ 灯籠浪漫 など

#### 〈踊り手〉

- ・ 18以上の独身女性
- ・ 山鹿市または近郊在住・勤務の方初心者大歓迎！

#### 〈地方〉

- (唄、三味線、笛、太鼓)
- ・ おおむね18～50歳までの男女初心者でも大歓迎！

### お問い合わせ・申込み先

山鹿灯籠踊り保存会事務局(市観光課内) TEL 0968-43-1579 FAX 0968-43-8795



### ・ 絵の提供 ・

## 奥村 桃枝 氏

熊本市在住 水彩画 油彩画

平成16年より23年まで県美展入選。

平成23年熊本県水彩展で

「ぶなの木」が熊本県賞を受賞。

### ※ 個展情報

於：熊本県立美術館別館

時：平成25年6月4日(火)～6月9日(日)

しあわせ運べるように (ふるさとバージョン)

作詞・作曲 白井 真

編曲 川上昌裕

地震にも 負けない 強い心をもって

亡くなった方々のぶんも

毎日を 大切に 生きてゆこう

傷ついた「ふるさと」を

もとの姿にもどそう

支えあう心と 明日への 希望を胸に

響きわたれ ぼくたちの歌

生まれ変わる「ふるさと」のまちに

届けたい わたしたちの歌

しあわせ 運べるように

地震にも 負けない 強い絆をつくり

亡くなった方々のぶんも



毎日を 大切に 生きてゆこう

傷ついた「ふるさと」を

もとの姿にもどそう

やさしい春の光のような 未来を夢み

響きわたれ ぼくたちの歌

生まれ変わる「ふるさと」のまちに

届けたい わたしたちの歌

しあわせ 運べるように

響きわたれ ぼくたちの歌

生まれ変わる「ふるさと」のまちに

届けたい わたしたちの歌

しあわせ 運べるように

届けたい わたしたちの歌

しあわせ 運べるように

